

令和7年度 第4回神戸市就学・教育支援委員会 次第

令和8年2月12日（木）15:00～
神戸市総合教育センター701号室

1. 開会

2. 内容

(1) 視覚・聴覚障害教育の充実

(2) 校内支援委員会「判断報告書」の検討

(3) その他

- ・通級による指導を受ける児童生徒の報告
- ・令和8年度 特別支援学校への新入学・転入学の報告

3. 事務連絡

※今後の開催日程

令和8年度の開催については、決定後、ホームページ上でお知らせします。

<配布資料>

- 資料1 視覚・聴覚障害教育の充実
- 資料2 校内支援委員会 判断報告一覧
- 資料3 校内支援委員会 「判断報告書」
- 資料4 通級による指導を受ける児童生徒の報告
- 資料5 令和8年度 特別支援学校への新入学・転入学の報告

視覚・聴覚障害教育の充実

1. 経緯

- ・神戸市就学・教育支援委員会（令和 6 年度）において、視覚・聴覚に障害のある児童生徒が、地域の中で学べるような場を設けていくことができれば、学びの選択肢が広がる等の意見をいただいた。
- ・令和 6 年 11 月に実施した視覚・聴覚に関する実態把握調査では、通常の学級に在籍している児童生徒の中に、弱視学級・難聴学級の入級対象となりうる児童生徒が在籍していることを確認した。

2. 弱視学級・難聴学級の設置

- ・視覚・聴覚に障害のある児童生徒が多様な場で学ぶことができるよう、地域校において弱視学級・難聴学級を順次設置していく。
- ・弱視学級・難聴学級の設置に向けて、令和 7 年度より、就学相談において対応。

3. 地域校への巡回フォロー

- ・令和 7 年度より、視覚・聴覚に障害のある児童生徒が在籍する学校に対して、必要に応じて、盲学校ひとみ教室・拠点校通級指導教室による巡回フォローを実施している。

視覚障害	聴覚障害
<ul style="list-style-type: none"> ・学校へのアンケート調査により実態を把握 ・アンケート内容を盲学校ひとみ教室へ情報共有 ・ひとみ教室から、支援の必要な学校へ連絡 ・必要に応じて、学校へ巡回フォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へのアンケート調査により実態を把握 ・アンケート内容を拠点校通級指導教室へ情報共有 ※中学校については、総合聴覚センターと連携 ・必要に応じて、学校へ巡回フォロー
令和 7 年度：13 校（小学校 11 校・中学校 2 校）	令和 7 年度：22 校（小学校 17 校・中学校 5 校）

4. 市立盲学校における取り組み

- ・市立盲学校において、多様な学びを推進していくため、令和 6 年度より、隣接する湊小学校において、交流及び共同学習を実施している。
- ・令和 7 年度からは、兵庫中学校とも交流及び交流学习を実施しており、障害のある子ども・障害のない子どもの双方にとって、お互いを尊重し合う大切さを学び、豊かな人間性を育む機会になっている。

5. 教員における専門性の向上

- ・弱視学級・難聴学級担当者を対象とし、指導法や教材の工夫等に関する新たな研修を実施するとともに、視覚・聴覚に障害のある児童生徒に関わる教員に、障害に関する基礎知識や子どもへの配慮などを学ぶ研修を行い、人材育成を図る。
- ・併せて、弱視学級・難聴学級担当者会の開催や教育委員会指導主事等の巡回訪問により、学級運営を支援していく。